

「七尾城まつり」

心配した天気も晴れて「七尾城まつり」が今年も盛大に行われました。「第2回ウォークラリー」では、「七尾城山を愛する会」の武井会長の注意を聞いて参加者が本丸跡を目指して旧道を歩きました。

参加者には小学生や70歳を越える人もいましたが休みながら歩き続け、口では「きつい」とか「たいそい」と言いながらも山道を充分堪能していました。本丸に上がっておにぎりとお茶をいただきほっと一息入れました。

調度丸跡周辺の晴嵐市、駐車場で奉納演舞も盛大に行われました。



豪雨でまたも大きく崩れる

先日の集中豪雨で3月の地震で崩れた石垣がさらに崩れ、数ヶ所の石垣や崖が新たに崩れました。本丸周辺では急遽ビニルシートで応急処置がなされました。九尺石近くの大きな石も転がり落ちました。数ある山道の状況や谷がどうなっているか心配しています。ただ、西の丸南や二の丸西下の土砂の中で『かわらけ』の破片が見つかるなど、少しは歴史の足跡を感じました。

七尾城山検定（初級）を実施

9月8日（日）、矢田郷公民館の依頼で「第1回 七尾城山検定（初級）」を実施しました。参加者のほとんどが小学校低学年で、城山に上った経験もない子ども達でした。とりあえず、七尾城の歴史を中心に城山の自然の様子なども話しました。子ども達が少



しでも城山に関心を持ち、この山に遊び七尾城に関心を示してくれることを思いながら「七尾城山検定」を実施しました。

今後、このような機会には積極的に参加したいものと考えています。それぞれの興味関心に沿って城山についての学習を深め、いつでも対応できるように問題作りをしてみましょう。